

# マシンで熱戦 学びの集大成



自走ロボットのレースを見守る駒ヶ根工業高校情報技術科の生徒ら

## 駒ヶ根情報技術科3年 自走ロボット大会

駒ヶ根工業高校(駒ヶ根市)情報技術科の3年生35人は19日、自作した自走ロボットの速さを競う「ライトレースロボット大会」を同校で開いた。生徒はマシンで熱戦を繰り広げ、学習の集大成を披露した。

コースの白線をセンサーで感知しながら走るロボットの性能を競う恒例の大会。自ら考える探究学習の一環として、毎年実施している。生徒は3年間で学

んできた知識を生かして車体設計や板金加工、制御プログラミングなどを行い、マシンを製作。パンフレットの作成や司会進行、審判などの大会運営にも携わった。

レースは緩やかなカーブや鋭角、交差点などを設けた複雑なコースで実施。2台ずつ走行し、予選と上位12台による決勝トーナメントで速さを競った。同じ部品を使用しても、車

体によって性質やプログラム内容は千差万別。滑らかに快走するマシンがある一方、逆走やコースアウトして完走できないマシンもあった。

予選で36・94秒の好タイムを記録した北澤凧琉さん(17)は「きょうに向け、夜遅くまで学校に居残り練習してきた。安定性を重視した結果、うまくいった良かった」と振り返っていた。(松本佳林)

# 長野日報

Nagano Nippo

ご購入ありがとうございます

## 7月20日(水)

発行所 長野日報社

〒392-8611 諏訪市高島3 ☎0266-52-2000代

©長野日報社2022

# 自走式ロボット 走れ！走れ！

## 駒ヶ根工高生 コース周回、順位競う



自走式ロボットの完成度を競い合う生徒たち＝駒ヶ根市の駒ヶ根工業高で

駒ヶ根市の駒ヶ根工業高校情報技術科三年生たちが自作した自走式ロボットの競技大会が十九日、同校であった。生徒たちは、幅十センチの白色テープで描いたコース上を走らせるタイムレースに挑み、完成度を競い合った。

マイコン制御実習の成果を発表する恒例行事。一年時からマイコン基板製作、車体設計、制御プログラミングなどを段階的に学びながら、生徒一人一人が自走式ロボットを作り上げた。直角や鋭角のカーブ、交差点などを組み合わせた全長約十五分の白線コース

を、センサーで読み取りながら一周して順位を争った。

生徒たちは「安定性を重視したので完走したい」などと意気込みを語って競技に臨み、難所の鋭角カーブをスムーズに抜けたり、好タイムでゴールしたりすると、仲間から歓声が上がった。

予選をトップで通過した北沢風琉さん（こはは）は「学校に遅くまで残って製作した。センサーの調整がうまくいった」と喜んだ。決勝レースでも安定した走りを見せ、優勝を飾った。

（中沢稔之）